



第6章 バイシクルフレンドリータウン 実現に向けた推進と体制づくり

みんなで創る 推進体制

関係行政機関の連携による事業の推進、 市民・団体とともに創り取り組む体制

バイシクルフレンドリータウンを創造するにあたっては、行政、関係機関をはじめ、市民や民間企業、NPOなどの市民団体が一体となって連携、協力、協働していく必要があります。

また、自転車の効用や取り組み状況などについて積極的に広報するとともに、特にハード面の整備を進めることで利用環境が良くなったという変化に市民の皆さんが気づくようにするなど、その気運を高めていきます。

■多様な主体の連携



みんなで評価し、推進しよう

基本計画に掲げる事業・取り組みの進行管理

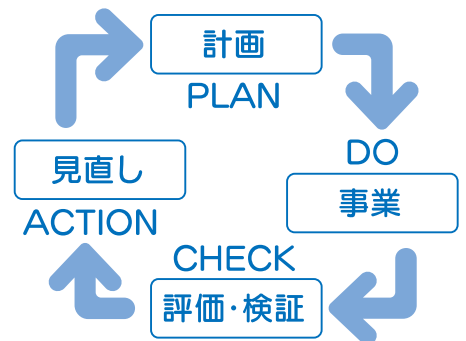
それぞれの取り組みは、P.24の計画推進プログラムにより準備～実験～実施計画～実施、組織化～活動～展開などステップを踏みながら成果を上げていくことになります。

その場合、最終的な達成目標及び毎年度の目標を設定(Plan)し、毎年度の施策・取り組み(Do)の進捗状況を進捗度・達成度等として評価・検証(Check)して課題を整理し、次年度の継続・改善や目標の見直し等に活かします(Action)。これにより、取り組みの質を高めていきます。

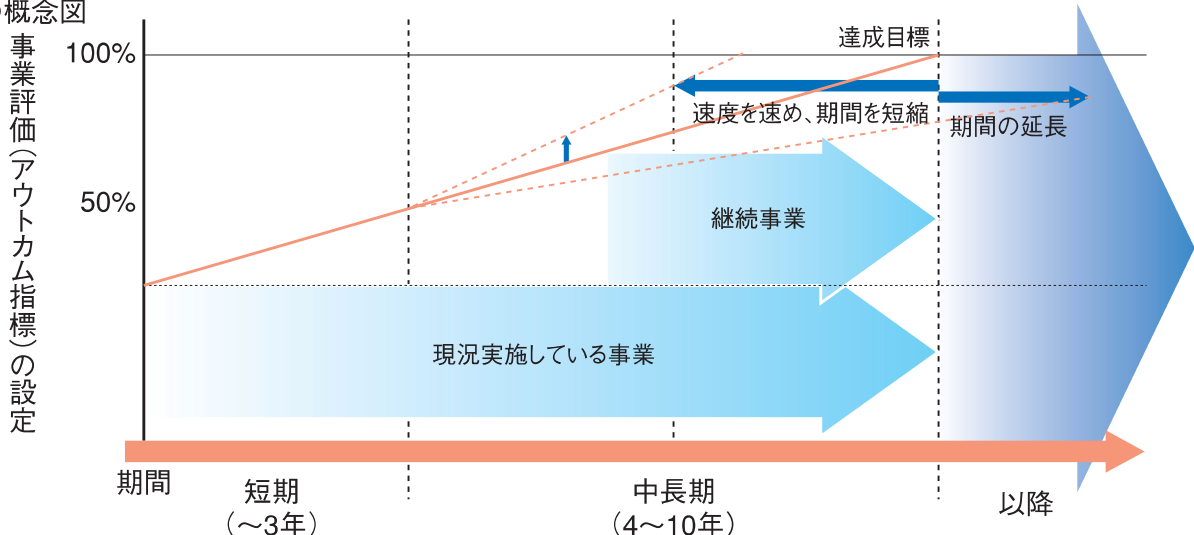
状況により期間の短縮、または延長を行います。

なお、評価指標は、整備延長や駐輪場台数などの実数、関係者の満足度など、適切に選定します。

■取り組みのPDCAサイクル



■進捗度の概念図



みんなで協働し、創造していこう

できること、必要なことから取り組み、しっかりした体制で取り組む

まず、この基本計画の推進、進行管理を行うにあたり、その中心となる「(仮称)自転車利用基本計画推進協議会」を立ち上げます。

並行して、自転車の適正利用に関する条例に基づき、関係団体、行政機関等で組織される「自転車等駐車対策協議会」を立ち上げ、必要な放置自転車対策、駐輪場整備に取り組んでいきます。

上記のような体制づくりや各事業の進展を見ながら、「(仮称)自転車利用促進協議会」へと発展させていきます。

市の自転車関係業務の一元化と担当組織の確立

市役所内部の自転車関係の事務、取り組みを一元的に把握、調整し、継続的に実行していける体制づくりを目指します。

■実現に向けた推進イメージ

